学校法人 浪越学園
日本指圧専門学校

浪越学園だより

JAPAN SHIATSU COLLEGE NEWSLETTER

2013 VOL.8 Dec.

新校舎での活動が始まる！

2013年10月1日後期始業式を経て、10月2日から新校舎での教育が始まりました。

春日通りに面した新校舎は、交通量が多いにもかかわらず、全館完全防音の静かな落ち着いた環境で学生たちは学園生活を送っています。

従来は各学年が同一フロアーで授業を受けていましたが、新校舎では1フロアーに1学級ということになり、6階ラウンジが生徒間の交流を持つ新たなスペースとなりました。また、ここには喫煙室も備わっていて完全に分煙されています。

10階の図書室は広々として書架にはまだスペースの余裕があり、これから収納冊数を増やして充実を図って参ります。9階の自習室は勉学に取り組むにふさわしい静かな空間となっております。

エレベーターも生徒諸君のオフピークの努力によってさほど混雑せず運用されています。

生徒の顔も心なしか以前より明るくなった感じで、将来良き指圧師になるべく希望に満ちて頑張っているように思われます。

校長　石塚　寛

施設概要

新校舎

10F 図書室

専門分野ごとに図書を収納し、落ち着いた雰囲気の中で閲覧していただけます。

12F 理事長室

9F 自習室

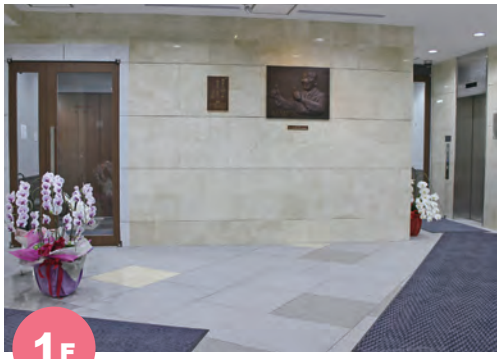
プライバシーを考慮し、静かな環境でますます勉強に身が入ります。

2~5F 7·8F 教室

日中は大きな窓からやわらかな日差しが降り注ぎます。開放感ある教室となりました。

6F ラウンジ

勉強したり、談笑したり、食事をしたり･･･学生たちのフリースペースとしていつも賑わっています。



1F エントランス

扉を開けると浪越徳治郎先生のレリーフが目に飛び込んできます。明るく清潔感溢れるエントランスです。

本校舎改修工事

教務課長　黒沢純一

この夏、新校舎の建設に伴い、本校舎も改修工事を行いましたのでご案内いたします。

この本校舎は、昭和43年（1968年）に竣工しました。奇偶にも私と同い年の45歳であります。ところどころお手入れをしなくてはならないお年頃でした。

今回の改修工事で大きく変わったところがいくつかありますが、基本的に本校舎は実技の授業を行う校舎として生まれ変わりました。

5F

第１実技室

4F

第２実技室

これまで３年生の教室と教務室があった４階は「第２実技室」になりました。これによって、５階の「第１実技室」同様の広さの実技室がもうひとつ完成しました。後期からの３年生の臨床実習もこの新しい「第２実技室」で行っています。

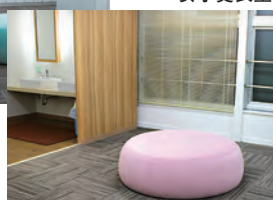
3F

基礎医学実習室

ここは２年生の教室と事務室がありましたが「基礎医学実習室」に生まれ変わりました。

2F

男子更衣室



女子更衣室

更衣室

ここには個人ロッカー室ができました。以前、男性は教室、女性は実技室で更衣をしていましたが、今はこのロッカー室で更衣を済ませて、実技室に向かいます。

1F

ラウンジ

以前基礎医学実習室であった１階は学生ラウンジになりました。新校舎の６階ラウンジとともに学生の憩いの場となりそうです。そのほか１階は浪越指圧治療センターがリニューアルオープンしました。以前別館にあった第２実技室は新たに「第３実技室」として授業に使われています。

外壁のタイル工事も終えて、装いも新たになりました「日本指圧専門学校本校舎」、これからも学生達が指圧実技を学び、技術を研鑽する場となることでしょう。

新校舎落成祝賀会

平成25年9月29日（日）、東京ドームホテルで、午後5時から国内外からの来賓、学園・工事関係者、教職員等100名を越える参加者により盛大に且つ楽しく催されました。

当日は、午後3時から新校舎内覧会も行われ、多数の皆様が来校され学校の新しい顔をご覧いただきました。

祝賀会は、佐々木正洋氏（元：テレビ朝日アナウンサー）の司会により理事長・来賓挨拶、アカペラコーラス、桂小金治師匠の草笛など盛りだくさんの内容で、終始、和気あいあいの中進行し、最後に教職員一同の決意表明とお見送りを経て無事に式典を終えることができました。

新校舎建設は、学園にとって長年の課題であり指圧普及と学園発展のための一大事業として遂行したものであります。

その完成により学校の教育環境は飛躍的に改善され、未来への輝かしい門出となりました。

これも偏に関係各位のご理解、ご支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。

教職員、治療部員一同揃って挨拶

乾杯　浪越学園理事
煙山力様

お祝辞を頂戴いたしました（左から文京区長 成澤廣修様、荒川区長 西川太一郎様、無量山傅通院 貫主 麻生諦善様）

惑星NAMIKOSHIの発見者
スポセッティご夫妻

海外からもお祝いに駆けつけてくださいました

片岡鶴太郎様より
頂戴した祝電披露

桂小金治師匠

アカペラコーラスグループ「ザ・ディヴァス」
校歌を熱唱

肖像レリーフ除幕式

日本指圧専門学校同窓会より浪越徳治郎肖像レリーフが寄贈され、除幕式が執り行われました。

浪越指圧治療センター リニューアルオープン

新校舎改修工事に伴い、浪越指圧治療センターも10月1日リニューアルオープンいたしました。白と茶系を基調とした落ち着いた雰囲気の院内は、従来の布団で指圧をするスタイルはそのままに、プライバシーが考慮できるように個室及びカーテンを新設しました。

浪越徳治郎がここ傅通院の地で治療院を開設して74年、私たちは伝統を受け継ぎながら、日々、指圧技術の研鑽を積んでおります。これからも患者さんをはじめ地域の方々、海外の方々、卒業生や在校生に喜んで頂けるようスタッフ一同、より一層努力して参ります。

是非、新しくなった治療センターへお越しください。

浪越徳治郎先生の胸像もリニューアル

本校舎正面にあるこの胸像は、平成2年2月11日に学校創立50周年記念事業の一環として同窓会・創立50周年記念実行委員会により設置されたものですが、長年の風雨に晒され、設置当初の姿が変わりつつありました。この度の新校舎竣工とエントランスへのレリーフ寄贈と共に当時浪越徳治郎先生半身像建立実行委員長であった小林秋朝先生のご尽力で、平成25年10月18日に製作を担当した立体写真像㈱により修復作業が行われました。

これからも、今まで同様に学園のシンボルとして本校舎正面で、学生を見守り、励ますことになります。

美しくなった胸像をぜひ、ご覧ください。

第9回「ゆび祭り」開催

平成25年7月20日、ゆび祭りが開催されました。

今年は新校舎建設のため年間行事が例年とは異なり、我々学生にとっては定期試験10日前という厳しいスケジュールとなりました。

学園祭委員の集まりが2回と物足りなさを感じていましたが、各クラスの委員がしっかりと仕事をこなしていたので学生主体で行うことができました。

オープニングはかわいい浪越フラガールズに今年はボーイズも加わって登場。

青空の下、色とりどりのパウを翻して笑顔一杯で踊りました。

続いて迫力ある曲とともに華麗な舞いを見せてくれた阿波踊りが盛り上げてくれました。

やっとさー

イベントではバンド演奏や一発芸、恒例となった男女装コンテスト等々。

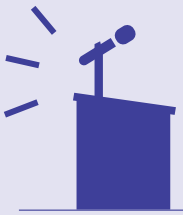
ボーイズ

毎年個性的なパフォーマンスで観客を楽しませてくれる男女装コンテストは、最近は3年生が優勝することが多かったのですが今年は1年生が見事に優勝しました。

2年生の座位指圧、3年生のチャリティー指圧と普段は学生同士で施術をしているので近隣の方々と接することができ勉強になりました。

来年も誰もが楽しめ、指圧を知ってもらえる学園祭となりますよう願っております。

学園祭委員長
木村　愛



第35回 東洋療法学校協会主催 学術大会

学生／田高隼、大木慎平、佐々木亮輔、竹内隆子、鳥居瑞希、永田昭子、上原昌貴
大池茜、菅野実希子、髙橋正浩、角本靖司、福田淑恵、中野まほ、三原春陽
教員／石塚寛、渡邉和雄、田中智子、本多剛、黒澤一弘（日本指圧専門学校）
大沢秀雄、森英俊（筑波技術大学）

10月16日（水）神戸国際会議場にて東洋療法学校協会第35回学術大会が開かれました。今回私達は**「頭部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に変化を及ぼす効果」**というテーマで発表を行いました。

私達応援部隊は台風26号の影響で新幹線が動かず残念ながら参加できませんでしたが、田高会長を含む発表組は念のため前日に神戸入りし、夜中まで発表原稿の読み合わせを行い、本番に臨んだそうです。

そして当日、演題45ある中、みごと「医道の日本社賞」を受賞することができました。これは、今までの先輩方の研究の積み重ねと研究にご協力くださった被験者の皆様、先生方のサポート、理事長先生、校長先生の温かい応援があってこその賜であると心よりお礼申し上げます。これからは後輩に引き継がれ、また新しいテーマで研究が行われます。こうした一つ一つの研究が指圧のさらなる発展に大きく貢献していくことを期待しています。今後も温かくご支援の程、よろしくお願いいたします。

最後にもう一度！ 発表当日、参加できなかった私達の思いを受けて最高の発表をしてくれた田高会長を誇りに思います！ ありがとうございました！！

（第55期指圧研究会　鳥居 瑞希）

職業実践専門課程の認定申請について

本校では、文部科学省が平成26年度より実施を予定している新たな課程の認定を受けるための準備を進め、11月に関係書類を文京区に提出いたしました。

これは、学校が外部の企業等との緊密な連携のもとに「職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成すること」を目的として組織的な教育を行い、「職業教育の水準の維持向上を図る」ことを目指すものであります。

自己評価の実施、教育課程編成委員会等の設置と意見活用、学校関係者委員会設置と評価・公表、研修、情報提供などが認定要件となっておりました。

以下に、学校が毎年実施している自己評価について意見・要望・評価等を行う学校関係者評価の結果概要を掲載します。

「評価項目全般に概ね“適切”の評価を受けたが、一部項目に“やや不適切”と"不適切“があり、これらの評価を平成25年度自己評価に反映させ、今後の教育活動その他の学校運営の改善に取り組むものとする。」

なお、平成25年度自己評価と学校関係者評価を12月に本校のホームページに掲載する予定です。

お茶の水女子大学「徽音祭」

11月9日（土）、11月10日（日）の午後、茗荷谷にあるお茶の水女子大学の学園祭「徽音祭」に指圧体験コーナーとして参加いたしました。

2009年に初出展し、5回目となる今年は2日間で98名の学生が参加し、873名の方に座位指圧を体験していただくことが出来ました。

スタッフの方から、毎年、指圧コーナーが大変好評であると聞いており気合充分で始まりしたが、行列が途切れることなく、一人10分ほどの施術でしたが皆様に喜んでいただけたことと思います。

年々、指圧を受けに来てくださる方が増え、学生・教員も楽しみにしているボランティアです。また来年に向けて日々精進してまいります。

（教員　髙橋 雄輔）

第39回礫川マラソン

平成25年11月24日（日）、文京区青少年対策礫川地区委員会主催の礫川マラソンが開催されました。

第39回と歴史あるこの大会は日本指圧専門学校校舎前がスタート・ゴール地点となります。毎年、レース後の疲労した選手たちにボランティアで指圧サービスを行っております。

参加する学生には、事前にランニングに関する運動学的な知識やスポーツ医学のレクチャーを行い理解を深めてもらい、さらには教員指導のもと、普段の授業とは違う実際に疲労した人の筋肉を触れる体験をしていただいております。

本年は32名の選手に指圧を行うことができました。スポーツの分野での指圧効果はまだまだ知られていないことが多いため今後も活動を続け、スポーツ分野に正しい「指圧」を広めていきたいと思っております。

（教員　石塚 洋之）

Namikoshi
その他のニュース
Gakuen

指圧発展の歴史と臨床効果の検証

指圧の発展の歴史を詳細に、指圧を知るうえで基本的な事柄をまとめた1冊。事務局にて発売中　500円（税込）

フランス指圧実技セミナー開催

11月19日（火）午後に、フランスから指圧実務者が来校し、3時間の短い時間でしたが実技セミナーを開催いたしました。

一行は、医師、看護師数人を含む12名で、指圧を勉強中の人たちとのことで姿勢も良く熱心に受講されました。

場所は本校舎第1実技室。浪越雄二先生と岡本助手により横臥位及び伏臥位における肩甲間部と肩甲下部を中心として、手で圧すのではなく“体重の移動で圧を生み出すこと”などの指圧の基本の指導がなされました。

さらに、教員の黒澤、金子（泰）、渡邉先生と治療師の大澤先生が途中から加わり、2人に対し1人という最高の状態で指導を行うことができました。

セミナー終了後、全員で記念撮影、新校舎を見学していただき帰途につきました。

参加された皆様から“とても印象に残った、勉強になった”などの感謝の言葉をもらい、私たちの誠意とおもてなし精神が伝わった貴重な体験となりました。（事務局　佐野 雅博）

JAPAN SHIATSU COLLEGE

浪越学園だより　第8号
発行日：2013年12月12日
発行人：理事長 浪越和民
発　行：学校法人浪越学園 日本指圧専門学校
〒112-0002　東京都文京区小石川2丁目12番4号
TEL.03-3813-7354 ／ FAX.03-3812-5003
http://www.shiatsu.ac.jp/

編集・制作：国際医学出版株式会社